

広島大学時代の研究紹介にあたって

中佐啓治郎

私は、研究者を志してから、40年以上も研究を続けている。曲がりなりにも初心を貫くことができたのは、大変幸せなことであり、このような機会と環境を与えていただいた多くの人々に感謝している。ぼつぼつ、研究生活の店じまいをしなければならない年齢ではあるが、まだまだ研究はできる気もするし、状況が許せば、テーマを変えながら、一生研究者として過ごしたいと思っている。

このたび、必要にせまられて自分でホームページをつくった機会に、私が今までに行った研究の概略を紹介することにした。その理由は、もちろん、自分の過去の研究を他人に見てもらい何かに役立ててもらえれば、という気持ちが第一であるが、この紹介を通じて、これまでの私の研究を支え、あるいは批判し、論文を校閲していただいた多くの方々、研究に協力してくれた多くの学生・留学生、に、感謝の意を表したい、という気持ちもある。論文名を年代ごとに羅列するのではなく、一連の研究ごとにまとめておけば、読みやすいかもしれない。単なる研究紹介では、書いていて面白くないので、研究の背景と回想を交えながら説明することにした。

私の行った研究は、とても高水準のものとは言えない。先人の業績を理解することもできない分野もあり、自分がそれらに何かを追加できたか、あるいは、あらたな研究分野を開拓したか、ということ、とても心もとないが、少なくとも、一研究者として、研究成果を論文に発表するという義務は、何とかはたしたと思っている。中には偶然よい結果が得られた研究、実験結果は出たがその理由を十分説明できなかったもの、などさまざまである。ここには紹介していない未完成の研究、内容が不十分で投稿をあきらめた研究、投稿はしたが掲載不可になった論文、なども少なくない。

研究回想・回顧には、記憶違いや年寄りにありがちな自己満足、後づけの理屈が含まれていると思われる。また、研究内容には、私の偏った解釈や誤りがあるかもしれないが、個人的な見解として批判的に読んでいただければ幸いである。

研究回顧の中には、文献の引用ではなく、個人名を出させていただいた部分もありますが、その趣旨は、研究を進める上でご協力いただいた方や、参考にさせていただいたお考え・ご意見・ご教示に感謝したい、という気持ちからであり、その他の意図はありません。もし不都合があればご連絡下さい。